

【新型コロナウイルス対策上の注意：発熱のある方はご遠慮ください。マスクの着用、アルコール消毒にご協力ください。】

# 日本科学者会議・関東甲信越地区 第8回シンポジウム 「どうなる日本 どうする日本」

## 自治体の主体的発展を考える —住民置き去りの民間委託の実態と問題点

政府・財界の公共サービスを民間に開放する施策により、私たちの周りでさまざまな変化が起きています。住民の暮らしと産業を守り発展させるために、何ができるか、何をしなければならないか、共に考えましょう。

日時：2020年5月10日（日）13:30～16:30

会場：埼玉会館（埼玉県庁東門前）4A 会議室

（最寄り駅 JR 浦和駅：西口県庁通直進・徒歩6分）

・講演：公共サービス「産業化」と地方自治の破壊にどう立ち向かうか—PFI※、民間委託、公共施設再編の実態から—

講師：久保木 匡介氏

（長野大学 環境ツーリズム学部・地方自治論、行政学）



### ・事例報告

- (1) 日本の種子（たね）を守る—種子法廃止と埼玉県の対応について：立石昌義氏  
（埼玉農民連会長、JSA 埼玉支部会員）
- (2) 私たち高倉地区から小学校、公民館、保育所がなくなる！？—「入間市公共施設マネジメント事業計画」をめぐる：小山正子氏（入間市在住、元小学校教員）
- (3) 横浜 IR 型カジノ誘致問題と市民の運動：後藤仁敏氏（カジノ誘致反対横浜連絡会共同代表、カジノの是非を決める横浜市民の会運営委員、JSA 神奈川支部幹事、鶴見大学名誉教授）
- (4) 日本初の原発県民投票をめざして：徳田太郎氏（いばらき原発県民投票の会共同代表、法政大学大学院博士後期課程（政治学））

### ・総合討論

主催：日本科学者会議関東甲信越地区ブロック\*\*

問合せ先：日本科学者会議（JSA）

〒113-0034 東京都文京区湯 1-9-15 茶州ビル 9F

Tel:03-3812-1472 Fax:03-3813-2363

E-mail: mail@jsa.gr.jp 資料代：500円

※民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（2014年） \*\*日本科学者会議は各県に支部があり、関東甲信越地区ブロックは、東京・埼玉・神奈川・山梨・長野・

新潟・群馬・栃木・茨城・千葉の10支部のグループでまとまって活動をしています。

【開催については、日本科学者会議のHP（<http://www.jsa.gr.jp/>）のイベント欄をご覧ください。】

